

1.化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社
東京都中央区日本橋本町4-3-8
担当
TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡 同上
改訂 平成21年12月8日

化学物質等のコード : 0342-1359

化学物質等の名称 : ナフテン酸銅 5%

2.危険有害性の要約

分類の名称 : 引火性液体、急性毒性物質、その他の有害性物質
危険性 : ・火気その他の点火源により引火するおそれがある。
・強酸化性物質と混合したとき着火するおそれがある。
・密閉状態で加熱すると爆発するおそれがある。
・引火性液体
(消防法;危険物第4類第2石油類(非水溶性))
有害性 : ・皮膚に対して感作性と刺激性を有する。
・蒸気を吸入すると、麻酔・酩酊状態または種々の神経障害をおこすおそれがある。
環境影響 : データなし

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物 (成分(1)と成分(2))

・成分(1)

化学名 : ナフテン酸銅
成分及び含有量 : 銅として5.0%以上
化学式または構造式 : $(RCOO)_2Cu$
分子量 : 不定
官報公示整理番号(化審法): (8)-630
構造別分類コード(労安法): J12000000000
CAS No. : 1338-02-9

・成分(2)

化学名 : ミネラルスピリット(石油スピリット)
成分及び含有量 : 約55%
化学式または構造式 :
分子量 :
官報公示整理番号(化審法): (9)-1702
構造別分類コード(労安法): J12000000000
CAS No. : 1338-02-9

危険有害成分:ナフテン酸銅

4.応急処置

目に入った場合 直ちに清浄な流水で15分以上洗浄し、眼科医の手当を受ける。
吸入した場合 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。
口内と鼻腔を水で洗浄し、必要な場合は医師の診断を受ける。
皮膚にふれた場合 汚染した衣類等は速やかに脱ぎ捨て、触れた部分を水または微温湯を流しながら洗浄した後、石鹸でよく洗い落とし、医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合 多量の水でうがいし、可能であれば吐き出させる。必ず医師の手当を受ける。

5.火災時の処置

消火方法 : ・火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
・延焼の恐れのないよう水スプレーで周辺を冷却する。

消火作業は風上から行う。
消火剤 : 粉末、二酸化炭素、乾燥砂、泡消火器

6.漏出時の措置

- ・風下の人を退避させ、漏洩した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。付近の着火源となるものを速やかに取り除き消火、用器材を準備する。作業の際には保護具を着用し、風上から作業すること。
- ・流出した製品が河川等に排出され環境への影響を起ささないように注意する。大量の水で希釈した場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないよう注意する。
- ・乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて密閉できる空容器に回収する。残りは大量の水で洗い流す。

7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い上の注意

- ・吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用し、できるだけ風上から作業する。
- ・局所排気装置のある場所で取り扱う。
- ・漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。

保管上の注意

- ・容器は直射日光を避け、冷暗所に貯蔵し、密閉して空気との接触を避ける。
- ・保管場所の電気設備は防爆構造とし、酸化性物質等と同一場所に置かない。

8.暴露防止及び保護措置

管理濃度 設定されていない。
許容濃度 日本産業衛生学会 ガソリンとして100mg/m³
ACGIH ガソリンとしてTWA890mg/m³

防止対策

- ・屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化又は局所排気装置を設置する。

保護具

- ・状況に応じ、有機ガス用保護マスク、送気マスク、空気呼吸器、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等を使用する。

9.物理的及び化学的性質

外観形状特性 : 濃緑色液体
引火点 : 45.8 ()
爆発特性 : データなし
融点、沸点 : データなし
密度 : 0.95(25)
溶解性 : 水に不溶、
多くの有機溶剤に可溶。

10.安定性及び反応性

安定性・反応性 :
・通常の取扱条件において安定である。
・酸、アルカリにより分解する。
・空気と接触させると酸化することがある。
・寒冷下においてゲル化することがある。

11.有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

急性毒性
(ミネラルスピリット) : ・ラット 腹腔 LD₅₀ 8560mg/kg
(ナフテン酸銅) : ・ラット 経口 LD₅₀ 110mg/kg
刺激性(皮膚、眼) : 皮膚刺激性、感作性あり。
変異原性 : 報告なし
その他毒性 : 発ガン性の報告はない。

12.環境影響情報

分解性 : データなし
蓄積性 : データなし
魚毒性 : データなし

13.廃棄上の注意

- ・取扱いおよび保管上の注意の項の記載による他、引火性液体に関する一般的な注意による。

- ・廃棄する場合は、酸で溶かして油分と水溶液に分離する。油分は焼却処理、水溶液は、アルカリにより沈殿濾過後、廃棄処分する。なお、多量の場合は専門業者に委託することが望ましい。
- ・河川等へ排出され環境への影響を起ささないように注意する。
(水質汚濁防止法:環境保全物質)

14.輸送上の注意

容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃・転倒・落下・破損の無いように積み込み、荷くずれ防止を確実にを行う。
該当法規に従って取扱、包装、表示、運送を行うこと。
(国、都道府県並びにその地方の法規、条令に従うこと。)

国連分類 : クラス3 (引火性液体) PG
国連番号 : 1933 (その他の引火性液体)

15.適用法令

労働安全衛生法 : 施行令等の一部改定第18の2別表第9
「名称等を通知すべき有害物」No.379(銅及びその化合物)、
No.551(ミネラルスピリット)
有機溶剤中毒予防規則 第3種有機溶剤(ミネラルスピリット)
危険物 引火性の物
化学物質管理促進法(PRTR法): 非該当
毒物及び劇物取締法: 非該当
消防法 : 危険物 第4類第2石油類(非水溶性)
船舶安全法 : 引火性液体類
航空法 : 引火性液体

16.その他の情報

参考文献

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2000)
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編
化学大辞典 共同出版
安衛法化学物質 化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版
化学物質安全性データブック オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修
中央労働災害防止協会編

このデータは作成の時点における知見によるものですがかならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。